



(写真提供：茨城県企画部地域計画課)

今月の1枚

つくばりんりんロードと筑波山

筑波山を眺めながら、美しい日本の原風景や清々しい空気を満喫できる「つくばりんりんロード(正式名称：茨城県道501号桜川土浦自転車道線)」は、廃線となった筑波鉄道筑波線の廃線跡地を利用した全長40.1kmのサイクリングロードです。茨城県が廃線跡地を買い取り、1991(平成3)年から11年の歳月をかけて整備され、2002(平成14)年に全線開通しました。

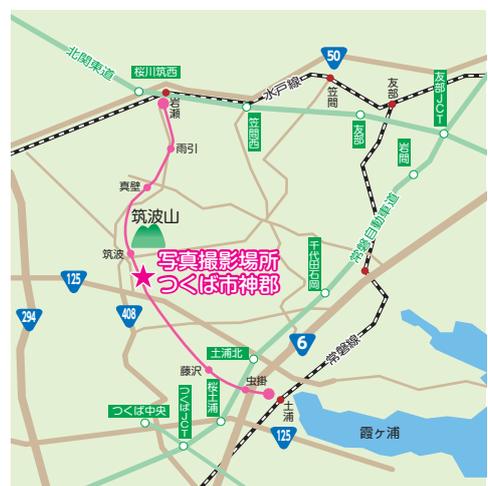
つくばりんりんロードの特徴として、鉄道時代の駅舎を活用した休憩所が設置されていること、旧軌道が全面舗装され、高低差やカーブが少なく走りやすいこと、そして四季折々の美しい筑波山を望みながら楽しくサイクリングが出来ることなどが挙げられます。特に休憩所は、当時の駅舎(旧岩瀬駅、旧雨引駅、旧真壁駅、旧筑波駅、旧常陸藤沢駅、旧虫掛駅)を利用しており、運行当時の面影を感じることが出来ます。

筑波鉄道筑波線は、1918(大正7)年に常磐線土浦駅と水戸線岩瀬駅が全線開通。その後70年に渡って、地域住民の通勤・通学や買い物、通院などの生活路線、筑波山への観光路線として活躍しました。筑波山を背景に美しい田園の中を走る列車の姿は、多くの鉄道ファンを魅了し、観光シーズンには、常磐線上野駅からの直通列車「つくば号」も運行されていました。

その後、モータリゼーションの進行により、集客数は年々減少。1987(昭和62)年3月31日、真壁行き最終列車のベルが鳴り、筑波鉄道筑波線の営業は終了しました。

沿線市町村では、レンタサイクルサービス*1を実施しており、まちかど蔵・大徳(土浦市)を始めとして、つくば駅レンタサイクル(つくば市)、岩瀬駅(桜川市)などで、自転車を借りることが出来ます。

これからの季節、ご家族、ご友人と一緒に、のんびりとつくばりんりんロードをサイクリングをしながら、かつて車窓から見た風景を探してはいかがでしょうか。



◆各休憩所間の距離と自転車で行き時のおおよその所要時間
 岩瀬→雨引4.6km(約30分) 雨引→真壁 5.3km(約30分)
 真壁→筑波9.9km(約50分) 筑波→藤沢12.8km(約60分)
 藤沢→虫掛3.8km(約20分) 虫掛→土浦 3.7km(約20分)

*1 「レンタサイクル」の最新情報は、土浦市、つくば市、桜川市のホームページ等の観光情報で、ご確認をお願いいたします。